

「法定調書顧問」平成22年度年末調整対応版 概要 (Ver.H22.1)

「法定調書顧問Ver.H22.1」で対応予定の内容についてご案内致します。

1. データの利用について

データ移行保証バージョン・・・Ver.H21.1以降

上記のバージョンからデータ移行が可能です。

＜上記以外のバージョンをお使いの場合＞

バージョンアップの際にデータが正常に変換できない可能性があります。変換ができない場合はデータを新たに
入れ直してお使いいただくことになります。変換後のデータをよくお確かめいただきご利用ください。

概要のバージョンの表記について

「Ver.H22.1」のように小数点以下 2 桁目は省略して記載しています。正確なバージョンはシステム起動後の [ヘルプ] - [バージョン情報] で確認できます。

2. 税制改正の内容とシステムの対応について

システムに関係する税制改正の内容と、システムの対応内容は次のとおりです。

■扶養控除の見直し

扶養控除について次の改正が行われました。

- ・年齢 16 歳未満の扶養親族（以下「年少扶養親族」といいます。）に対する扶養控除が廃止されました。これに伴い、扶養控除の対象が、年齢 16 歳以上の扶養親族（以下「控除対象扶養親族」といいます。）とすることとされました。
- ・年齢 16 歳以上 19 歳未満の人の扶養控除の上乗せ分（25 万円）が廃止され、これらの人に対する扶養控除の額は 38 万円とすることとされました。
これに伴い、特定扶養親族の範囲が、年齢 19 歳以上 23 歳未満の扶養親族に変更されました。
- ・源泉徴収税額表においては控除対象配偶者、控除対象扶養親族の人数など（扶養親族等の数）に応じて税額を算出することとされました。
- ・これらの改正は、平成 23 年 1 月 1 日以後支払うべき給与について適用されます。

■同居特別障害者加算の特例措置の改組

同居特別障害者加算の特例措置が改組されました。

- ・今回の改正により年少扶養親族に対する扶養控除が廃止されたことに伴い、同居特別障害者に対する障害者控除の額を 1 人につき 75 万円（特別障害者である場合の障害者控除 40 万円に 35 万円を加算した額）とする制度に改められました。
- ・給与等に対する源泉徴収税額は、年少扶養親族が障害者（特別障害者を含みます。）又は同居特別障害者に該当するときは、従前どおり、これらの一に該当するごとに扶養親族等の数に 1 人を加えて加算します。
（注）年少扶養親族の人数については、扶養親族等の数に加えないこととなります。
- ・これらの改正は、平成 23 年 1 月 1 日以後支払うべき給与について適用されます。

上記改正に伴い、システムでは以下のとおり対応します。

- 扶養者区分に「（年少）」を追加（平成 23 年度以降のデータのみ）
家族情報・扶養画面の扶養者区分に「（年少）」を追加します。

●帳票様式の変更

- ・扶養控除等（異動）申告書（23 年分様式）
- ・保険料控除等申告書（22 年分様式・裏面のみ）
- ・源泉徴収簿（23 年分様式）
- ・法定調書合計表

3. 機能アップ等による変更点

システムの主な変更点は次のとおりです。

■データ選択・保守画面

- ・一括バックアップ、一括リストア画面のバックアップ領域（リストア（バックアップ）領域）の
＜参照＞ボタンの下に＜初期フォルダ＞ボタンを追加します。

<初期フォルダ>をクリックすると、領域がシステムセットアップ時のバックアップ初期フォルダに変更されます。

- ・一括バックアップ、一括リストア画面の<前回結果>表示は、処理をした年度バージョンの前回結果を表示するよう対応します。
- ・一括バックアップ画面で「圧縮：使用する」でバックアップした場合のデータ形式を LZH 形式から Zip 形式に変更します。
- ・会社パスワードが設定されている会社データを<削除>する場合、削除前に「パスワードの入力」画面を表示し、会社パスワードが入力された場合のみ削除を行うよう対応します。

■プレビューからの戻り画面の選択機能

プリンターの設定画面に「プレビュー画面の<閉じる>ボタン押下後の印刷画面（表示する／表示しない）」を追加します。

「表示する」を選択すると、プレビュー画面を<閉じる>で閉じると、印刷画面を再表示します。

■法定調書合計表 提出媒体の次年度引継ぎ

法定調書合計表の媒体欄で設定した項目を年度更新後も引き継ぐよう対応します。

4. 「電子申告応援」をご利用のお客様

電子申告更新用プログラムは、法定調書顧問 Ver.H22.1での22年度の法定調書関係の電子申告を可能とするVer.H22.10.e1（2011年1月リリース）をご提供する予定です。
詳細につきましては、別途ご連絡いたします。

5. データの互換性について

InterKX給与計算・法定調書、給与応援Superネットワーク版／スタンドアローン版、給与応援Lite、法定調書顧問は同じバージョンでデータの互換性があります。ただし、法定調書顧問に移行する場合は、移行する前に年末調整メニューの<年末調整／一覧入力>で<年調計算>を実行してください。同じバージョン間で会社データを移行する場合は、バックアップとリストアで行います。法定調書顧問よりデータをInterKX給与計算・法定調書、給与応援Superネットワーク版／スタンドアローン版、給与応援Liteにリストアする場合で、年末調整のみ行う場合は、リストア後、設定メニューの<計算条件>で年末調整の使用方法が「年末調整のみ使用」になっていることを確認してから年調処理を行ってください。

6. プロダクトIDについて

プログラムのセットアップ(インストール)時にプロダクトIDを入力していただきます。プロダクトIDは製品固有の24桁の数字で、同一のプロダクトIDは存在しません。1つの製品を複数のコンピューターにセットアップされた場合、2台目以降では、別のプロダクトIDを入力されるまでプログラムの起動ができなくなります。プロダクトIDが記載されたラベルは、CD-ROMのケース(ライセンス商品の場合はライセンス使用許諾証)に貼られます。詳細は改版商品に同梱のご案内(手順書)をご参照ください。

ライセンス商品のご案内

「応援シリーズ」で、同一プログラム(スタンドアローン版)を複数本使用される場合、2本目以降のライセンス商品(及び年間プログラム保守契約)を割安価格でご用意しています。

■ライセンス商品はこんなときに最適です。

- ①企業又は会計事務所内において、複数台のパソコンで使用する場合
- ②本社以外の出先拠点(支社、営業所等)において使用する場合
- ③会計事務所において、在宅処理や外出先処理(モバイル用途)等の所外で使用する場合
- ④学校等の教育用途として使用する場合

【著作権・使用許諾契約について】プログラムを使用するには、著作権法及び使用権許諾契約により、1台のコンピューターにつき1ライセンスの使用許諾が必要です。

7. 動作環境

動作環境	詳 細
基本ソフト	Windows 2000 Windows XP (32 ビット版) Windows Vista (32 ビット版) Windows 7 (32 ビット版/64 ビット版)
CPU	Windows 2000 : Pentium II 以上 (400 MHz 以上を推奨) Windows XP : Pentium II 400MHz 以上 (Pentium III 500 MHz 以上を推奨) Windows Vista : 800MHz 以上 (1GHz 以上を推奨) Windows 7 : 1GHz 以上
メモリー	Windows 2000 Professional : 64 MB 以上 (128 MB 以上を推奨) Windows XP/Windows® 2000 Server : 128 MB 以上 (256 MB 以上を推奨) Windows Vista : 512MB (1GB 以上推奨) Windows 7 : 1GB 以上
ディスプレイ (解像度)	1024×768 (小さいフォント) Windows XP : 「標準のフォント」かつ 96DPI Windows Vista : 「既定のスケール (96DPI)」 Windows 7 : フォント : 小-100% (既定) 表示色 : High Color (16 ビット) 以上推奨
HDD	データ容量 : 32MB + 登録会社数 × 3MB プログラム容量 : 100MB 以上
プリンター	上記対応 OS で使用可能なページプリンター・インクジェットプリンター 複写能力 5 枚以上で 136 桁の印刷ができるインパクトプリンター (EPSON 製 VP シリーズ)

※1 Windows®95、Windows98、Windows Me は動作対象外です。

64 ビット版 OS 対応について

今回のバージョンより 64 ビット版 OS に対応します。
使用可能な 64 ビット版 OS は、Windows 7 です。